



太田市長の意見に耳を傾ける参加者ら

市政懇談会が8月19日、本庁舎で開催されました。地域づくり委員会の代表者と市長が意見交換を行う場で、現状の課題について共有し、解決を図ることが目的。市内9地区の地域づくり委員会から14人が参加し、「ひと・まち・市役所、多彩な真庭〜元気で希望の湧く真庭」をテーマとして意見交換を行いました。多彩で特色ある地域活動の報告を行ったほか、定住促進のための支援策や施設の有効活用などさまざまな地域づくりの提案が出され、現在策定中の総合計画についての意見交換も行われました。

**蒜山高原で昆虫採集**  
**草原にバッタやチョウ28種**

蒜山高原で昆虫採集をするイベントが8月2日、ひるぜんベアバレースキー場で開かれました。市内外から約20人が参加。まずは昆虫博士が、草をなでるように網を左右に振る「スワイピング」や目視してから網を被せる「見つけどり」といった網の使い方を指導。説明を受けた参加者はなだらかな草原でバッタやチョウを追いかけました。見つけた昆虫は28種類。採集後は全員で持ち寄った昆虫で観察会を行いました。



スワイピングで昆虫を採集する親子



概要説明を受ける関係課職員

**生活総合相談にかかる課題調整会議**  
**困りごとを早期解決**

7月29日、困ったことや相談事を、どこに相談したらいいのか分からない市民のためのワンストップサービスを提供するため、生活総合相談にかかる課題調整会議が市役所本庁舎で開催されました。相談事が多い部署から職員が出席し、担当課から概要の説明を受けました。困りごとの早期解決のために、課を超えて連携していくため、今後も会議を継続して行く、市民の安心安全に取り組んでいくことを確認しました。



市政に関する動きの一部を紹介します

## 7/29 地域課題解決に向けて協力

岡山県立大学と真庭市、備前市、笠岡市の連携協力に関する協定書調印式が県立大学で行われました。各市の抱える地域課題に対し、教員と学生が各市の担当者と協力し、課題解決に向けて取り組むことを確認しました。

連携協力に関する協定書 合同調印式  
岡山県立大学 笠岡市 備前市 真庭市



## 8/6 美作の歴史を学ぶ

真庭市歴史講座が開催され、50人が受講しました。美作国建国1300年を記念して発刊された「みんなで学ぶ、ふるさと美作のあゆみ」の著者を招き、原始から近現代までの美作の歴史を全6回の講座で学びます。



## 8/16 林農林水産大臣が真庭市に

木材利活用の先進地視察のため、林芳正農林水産大臣が真庭市を訪れました。まず太田市長が木材活用のまちづくりについて説明し、CLT（直交集成板）の製造現場や市内のバイオマス関連施設などを視察しました。



市長室から  
**こんにちは!**

## 真庭の若者に期待する

真庭市では、市制発足から10年を経過した27年度からの10年間の市政の方向を示す「真庭市総合計画」を策定中です。できるだけ若者の思いを入れた内容にしたいと思い、市の未来を語る「ものがたり会議」に若者を募集したところ、26人の高校生が参加してくれました。さらに未来の真庭を語る高校生の会には、勝山高校と真庭高校の4校地から113人の生徒が集まり、活発な意見交換会ができました。とかく若者を批判し心配する傾向がありますが、真庭の若者はすくすくと育っています。若者の成長を温かく見守るとともに、誇りを持って次代にバトンタッチできる真庭を築いて行こうではありませんか。



用水路の周りを点検する関係者

市教育委員会と真庭警察署、美作県民局などが合同で行う通学路点検が8月6日と8日、市内各所で実施されました。事前に小中学校に対して行った調査から、16校で25の点検箇所を抽出し、各学校の担当者から説明を聞きながら現場を確認。見通しが悪く歩道のない通学路では「グリーンベルトの設置を」、用水路周辺では「転落防止の対策を」といった提案があり、今後の対応策について関係者で協議を行いました。

通学路合同点検  
登下校の安全確保のため



会場に設けられた相談コーナー

真庭ふるさと回帰フェアが8月11日〜15日の5日間、市役所本庁舎で開かれました。定住人口の増加を狙い、帰省する人が多いお盆の期間に合わせて開催。期間中に31組(43人)が来場しました。会場には移住や就職などに関する各種相談コーナーを設置。市の担当職員と地域おこし協力隊員が、Uターン、Iターン希望者らに移住につながる暮らしの情報や就職に関する企業情報などを紹介しました。

真庭ふるさと回帰フェア  
真庭に帰ってきませんか?